

徳島教育大綱（素案）

～ 徳島県が目指す教育の姿 ～

■ 1 大綱策定の趣旨

我が国は、急速に進む少子高齢化や東京圏への一極集中により、地方において、労働力不足や過疎化が進行し、様々な社会的・経済的な課題が生じています。また、各地で地震が頻発していることに加え、線状降水帯を伴う大雨による土砂災害など、激甚化・頻発化する自然災害への対応が喫緊の課題となっています。

また、世界では、人口増加、エネルギー・食糧問題、深刻さを増す気候変動など継続的な課題への対応に加え、3年にわたったコロナ禍の影響やロシアによるウクライナ侵攻による国際情勢の不安定化などの新たな課題が生じるとともに、デジタルトランスフォーメーション（DX）や脱炭素化の進展などが今後の社会に大きな変革をもたらすことが見込まれています。

こうした変化が激しく、将来の予測が困難なこれからの社会を生きる子どもたちには、自らが持続可能な社会を創り出していく「未来社会の創り手」として、答えが定まらない様々な課題に対し、解決に向けて主体的に考える力や、多様な人々と協働する力、新たな価値を創造する力等が求められており、このためには、子どもたちが持つ大きな可能性を引き出し、広げていく教育を進めるとともに、子どもたちを社会全体で大切に育て、支えていくことが重要です。

さらに、地方の正念場となる「地方創生戦国時代」を迎える中、本県が目指す「未来に引き継げる徳島」の実現に向けて、県民の皆様が「ずっと居りたい」、県外に出た人々が「いつも帰りたい」、そして世界中の人々が「みんな行きたい」と、国内外の人々に本県を選んでもらえるようになるためにも、個性や国際性に富んだ「世界に挑める人財」を育む学びを充実させるとともに、「教育DX」、郷土の自然や伝統文化・歴史を学び「シビックプライドを育む教育」、「いじめ・不登校と向き合う学校づくり」、「教員の働き方改革」などを進め、誰一人取り残されない、教師や保護者、地域の人々も含めた社会全体の「ウェルビーイング」を実現させていく「日本一の教育環境」を目指し、つくりあげていくことが重要となっています。

こうした考え方の下、これまでの「徳島教育大綱」で推進してきた「徳島ならではの」教育に一層の磨きをかけながら、知事と教育委員会が緊密に連携し、徳島の教育力を結集させた「新しい時代」の教育の方針を本大綱において示すものです。

■ 2 位置付け

この大綱は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の3第1項の規定に基づき、本県における教育、学術、文化及びスポーツの振興に関する総合的な施策についてその目標や施策の根本となる方針を定めるもので、教育分野についての県総合計画の上位の概念として位置付けています。

また、一体的に策定する「徳島県教育振興計画（第4期）」は、本県教育の振興のための具体的な施策や成果目標を示しており、大綱の行動計画としての位置付けとなります。

■ 3 推進期間

令和5年度から令和8年度までの4年間とします。

■ 4 基本方針

「徳島ならではの」教育により、個性と国際性を育み、大きな夢や高い目標を持って、自らの可能性を高め、主体的に未来を切り拓くために果敢に挑戦する、本県の宝である「人財」の育成を目指します。

個性と国際性に富み、夢と志あふれる「人財」の育成

求められる「人財」の具体像

- ① 夢と希望を持って、国際性を身につけ、自らの可能性を伸ばし、個性を發揮しながら、未来を切り拓くために「果敢に挑戦する人財」
- ② 人と人、人と地域のつながりを大切にし、他者への共感や思いやりを持って、多様な価値観を持つ人々と共に輝き、「新たな価値を共創する人財」
- ③ 郷土への愛や誇りを持ち、未来社会の創り手として、主体的に考え、意欲的に学び続けながら、「地域のために行動する人財」

■ 5 重点項目

基本方針に掲げる「人財」を育成するため、あらゆる分野・世代のつながりを大切にし、誰もが輝く未来志向の教育施策を積極的に推進します。

この施策を着実かつ、スピード感を持って展開していくため、組織横断的な体制で取り組むとともに、市町村や関係機関との有機的な連携を積極的に図ります。

重点項目Ⅰ

未来を拓く力を育む教育の推進

一人一人が持続可能な社会の創り手であるという自覚のもと、世界の課題に挑み、新しい価値を創造できる人財を育成するため、最先端のデジタル環境による教育DXを実践し、世界とつながり、国際社会の一員として活躍できる自律したグローバル人財の育成に向けた取組など、未来を拓く力を育む教育を推進します。

※1.0年程度先の将来ビジョン

全ての児童生徒が、自分の良さや可能性を認識し、持続可能な社会の維持・発展に向け、「主体性」、「創造力」、「論理的思考力」等の資質・能力を開花させています。

重点項目Ⅱ

個性を活かし、確かな学びを育む教育の推進

自らの個性を発揮した豊かな人生を切り拓くため、幼児教育、初等中等教育において、多様な体験や他者との協働・課題解決型学習などを通じた深い学習、また大学をはじめとする教育関係機関や社会との連携を通じて、「自分で考えて動く」ことができる資質や能力・特性の伸長、さらに心身共に健康で幸福な生活を営むことができる教育を推進します。

※1.0年程度先の将来ビジョン

学校と社会の連携・接続が図られ、グローバル化する社会問題に柔軟に対応し、全ての児童生徒が、確かな学力と主体的に社会の形成に参画する態度を身に付けています。

重点項目Ⅲ

全ての人の可能性を引き出し、多様性を育む教育の推進

誰一人取り残されず、全ての人の可能性を引き出し、誰もが輝ける共生社会を実現するため、多様化する学習ニーズに対応した教育や、「ポジティブ行動支援」の更なる展開、いじめや不登校に適切に対応できる教育相談体制の充実など、「ダイバーシティとくしま」の実現に向けて、多様性を育む教育を推進します。

※1.0年程度先の将来ビジョン

多様性を認め合う教育の充実により、全ての児童生徒が、社会の中でそれぞれの役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現しています。

重点項目Ⅳ

人生100年時代のマルチステージで輝く教育の推進

自己肯定感を高めるとともに、他者を認め合い、多様な個人それぞれが幸せと生きがいを感じるウェルビーイングを向上させていく社会を目指し、誰もが学びやすい環境の整備を図り、生涯にわたり学習機会が保障され、学ぶことで自己実現や地域社会への貢献につながる教育を推進します。

※1.0年程度先の将来ビジョン

全ての児童生徒が健やかに成長できる環境と、生涯にわたり新たな知識やスキルを身に付ける環境が保障され、多様な人々が、社会の中でいきいきと活躍しています。

重点項目Ⅴ

地域・家庭・学校が連携し、協働する教育の推進

「社会に開かれた教育課程」を通じてより良い社会をつくるため、地域・家庭・学校の連携・協働による地域コミュニティの教育機能の充実・強化を図り、地域の担い手育成と、教員が子どもたちに向き合う時間を確保する働き方改革を実現し、持続可能な「地域ならではの」教育活動を推進します。

※1.0年程度先の将来ビジョン

「地域とともにある学校」による地域総ぐるみでの連携・協働が図られ、全ての児童生徒が、地域コミュニティの中で共感的・協調的な関係を築いています。

重点項目Ⅵ

文化・スポーツが躍動する教育の推進

優れた才能や個性を発揮し、躍動する人財を育成するため、藍染や阿波おどりといった伝統文化や様々なスポーツに親しむ環境を充実させるとともに、徳島が誇る歴史や風土で育まれた「あわ文化」の継承や魅力の発信、トップアスリートの発掘・育成など、文化・スポーツレガシーを継承する教育を推進します。

※1.0年程度先の将来ビジョン

全ての児童生徒が、徳島の歴史やあわ文化への理解を深め、スポーツを通じた価値を享受でき、活力にあふれ、「ふるさと徳島」への誇りと愛着を抱いています。